

# エル・フェジェ タンゴコンサート

2012年6月3日[日] 開場 15:30 / 開演 16:00 調布市 せんがわ劇場

前売り3,500円/当日3,800円 [全席自由]



■これまで、タンゴというと高齢でハイソなファンが多く、演奏や曲名が知られている割には敷居の高い音楽というイメージがあり、そのためコンサートなどを敬遠する向きも多かったのではないかとオイラ思っている。

たしかに日本においてタンゴは、閉鎖的なファン層に支えられてきたことは間違いない。だが現在では、ワールド・ミュージック、すなわち世界の大衆音楽という見方が広まる中、タンゴの聞かれ方ばかりでなく、演奏者やダンサーの表現も変化してきているのだ。

■タンゴは19世紀から20世紀にかけ、カリブ海地域で同時発生した、アメリカのジャズ、ブラジルのサンバ、キューバのルンバなどと同じ、ラテン・アメリカ音楽の一種である。アルゼンチン・ブエノスアイレスの下層社会で発生した、ねちっこくバイタリティあふれる猥雑な音楽は、1920年代から40年代にかけてそのダンスと共に欧米を席卷した。日本での50年代のブーム以降、タンゴはその力を失い演奏も形骸化していったように思われる。

■しかし、70年代から評価され始めたアストル・ピアソラによるタンゴの革新は、タンゴ・ミュージシャンばかりでなく、世界の多くのミュージシャンに影響をあたえていった。日本でも多くのミュージシャンがピアソラの影響を受け、タンゴに自己の音楽表現を見出す若いミュージシャンも増えてきた。

■佐藤美由紀たちのユニット「エル・フェジェ」もそうした中から生まれた。オイラその演奏から、タンゴが本来持っていた大衆音楽としてのバイタリティや音楽性だけでなく、ジャズで言う集団即興演奏[コレクティブ・インプロビゼーション]の面白さを感じてしまうのだ。演奏ばかりではない。ダンスのケンジ&リリアナは、これまでのタンゴ・ダンスにバントマイムや舞踏などの要素を取り入れた斬新な表現を行い、本場アルゼンチンでも絶賛されている。この機会に彼らの演奏とダンスをぜひ多くの人に見てもらいたいと思う。

伊達政保(評論家。著書に『昭和40年代激動文化』などがある)



■場所■せんがわ劇場

調布市仙川町 1-21-5

Tel : 03-3300-0611

京王線仙川駅より徒歩約3分

■出演■El Fuell [蛇腹]

佐藤美由紀 ピアノ

川波幸恵 バンドネオン

スズキイチロウ ギター

山中裕平 バイオリン

清水良憲 コントラバス

ケンジ&リリアナ ダンス

■問合せ・申込み■

タンゴコロリンド(仙川でタンゴ事務局)

090-8340-9924 (中田)

090-9841-3068 (野沢)

■エル・フェジェ ホームページ■

<http://elfuelle.exblog.jp/9104783/>

■ケンジ&リリアナ ホームページ■

[www.yy.ale.co.jp/kenji\\_liliana/](http://www.yy.ale.co.jp/kenji_liliana/)

